

| | |
|---|---|
| 事業の名称（提案種別 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型） ミニ鉄道運転会40周年記念車両製作 | |
| 団体名 富士見市ミニ鉄道クラブ 富士見部会 | 担当課名 協働推進課 |
| 事業の目的 | 令和2年度に40周年を迎えるミニ鉄道運転会で使用している市所有の車両は、老朽化が進んでいるため、団体に所属する会員のアイデアと機関車製作の経験を活かして新たな機関車を製作し、子どもたちにより親しまれるミニ鉄道運転会を開催していく。 |
| 役割分担 | 【団体】 会員の電気機関車製作経験を活かし、40周年記念電気機関車を完成させる。 【担当課】 事業内容の公開 電気機関車製作に対する部品・材料及び加工について協力が得られる企業との連絡調整 市民向けイベント（最終塗装・組立）の会場確保や広報 |
| 事業の決算額 | 204,518 円 （市補助金 200,000 円 ） |

1 協働事業の実施内容について

| 実施日 | 内容 |
|------------|---|
| 令和元年 4月14日 | 関係者に協働事業内容説明 |
| 5月12日 | 記念車両イメージ説明、台車発注 |
| 6月9日 | 台車・コントローラー入荷 作動確認実施 |
| 7月14日 | モックアップ構造を基に車体加工開始 |
| 8月25日 | 木材加工による車体の完成・試験走行 |
| 9月8日~ | 外装デザイン募集 |
| 10月12日 | 各部補強及び下塗り作業実施 キャラクターウレタン加工開始 |
| 10月26日~ | 車両色ぬりイベント参加者募集 |
| 11月18日 | 仮組立、パンタグラフ製作、車体デザイン決定。 ※市民からの外装デザインに応募があり車体のデザインに採用 |
| 12月14日 | 車両色ぬりイベント開催（場所：鶴瀬西交流センター） 参加者：小学生8名、保護者4名、サポートメンバー5名 |
| 令和2年 1月8日 | 車体・キャラクター塗装手直、車体の窓付作業 |
| 2月9日 | パンタグラフ完成、電気ブレーキ取付、細部補修、調整 |
| 3月1日 | 関係者にお披露目、カワセミステッカー貼付けでデザイン完了 客車2両牽引で安定した走行を確認した |

2 協働事業の実施した結果について

現在富士見市ミニ鉄道クラブで保有している蒸気機関車、電気機関車及びエンジン機関車は、みな30年近く走って痛みが進んでいたが、今回の40周年記念車両の完成で車両運転の間隔が広がり、より安全な運転ができ、より多くの人たちにミニ鉄道運転会を楽しんでもらえる。

また、車両製作過程で、外装に一般市民から応募されたデザインを採用し、外装の色ぬりを市内の小学生や保護者に携わってもらうなど、さまざまな市民の力を得て完成することができた。

3 団体、担当課の評価等 評価：◎よくできた ○できた △課題である

| 協働事業の 評価の視点 | 団体 | | 担当課 | |
|------------------------------|----|--|-----|--|
| | 評価 | コメント | 評価 | コメント |
| 協働事業を行うにあたり、互いの情報等を共有できたか。 | ◎ | ミニ鉄ニュースの発行で情報の共有が出来た。 | ◎ | ミニ鉄ニュースを送付してもらい製作過程を確認でき情報共有することが出来た。 |
| 協働事業の目的を共有できたか。 | ◎ | 事業提案時より、目的を具体的に認知し共有した。 | ◎ | 事業提案時から目的を共有しており、完成に向けて協力できたと思われる。 |
| 協働事業の役割分担は適正だったか。 | ○ | 専門的な製作作業は主にミニ鉄メンバー主体となった。 | ◎ | 役割分担は周知広報については担当課で実施して、製作はミニ鉄道クラブが主体で実施しており、適正であったと思われる。 |
| 互いを尊重し、対等な立場で協働事業を実施できたか。 | ○ | プレゼンテーション時より担当課の協力を得て広報含め周知された。 | ◎ | 対等な立場で実施することが出来たと思われる。 |
| 協働したことにより、他の地域や市民へ広がりがみられたか。 | ◎ | 市内小学生含みデザイン協力には市民を含めて強い関心が得られ、素晴らしいものが完成した | ◎ | 市民参加により地域の協力もあり広がりを見られた協働事業が成功したと思われる。 |

【団体の感想等】

協働事業により、開始後40年を迎えるミニ鉄道運転会で新しい戦闘力となる記念電気機関車の完成したことは、事業目的をしっかりと達成するものと考えます。

【担当課の感想等】

団体会員の技術・経験を活用し、新しい電気機関車を完成させることができた。また、製作にあたっては、一般市民から応募されたデザインを採用したり、市内の小学生や保護者に外装の色ぬりをしてもらったりするなど、多方面の市民の力を得られました。新車両の完成により、これからのミニ鉄道運転会を安全に、より盛り上げることができると考えます。

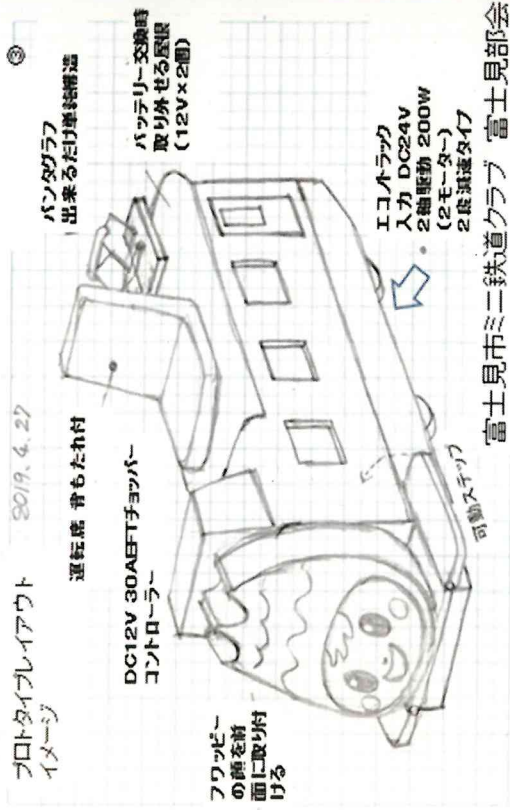
事業報告用ミニ鉄ニュース抜粋

ミニ鉄道運転会40周年記念車両製作

1/4

2019年4月14日より完成まで

富士見市ミニ鉄道クラブ 富士見部会 2020年4月



2019年9月から11月までの車体構想検討から製作過程と試験走行の様子



初期のイメージを生かしながら、丈夫で、取り扱い易く、安定して走れる構造を、みんなまで考えました。



3体の
フワッピーも
完成

■ 40周年記念電気機関車が完成しました



2020年3月1日内部お披露目会

収 支 決 算 書

採択協働事業の名称 ミニ鉄道運転会40周年記念車両製作

1 収入の部

(単位 円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 摘 要 |
|-------|---------|---------|------|
| 市補助金 | 200,000 | 200,000 | |
| 団体負担金 | 0 | 4,518 | 自己資金 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 合 計 | 200,000 | 204,518 | |

2 支出の部

(単位 円)

| 科 目 | 予算額 | | 決算額 | | 摘 要 |
|----------|---------|---------|---------|---------|--------------------------------|
| | | うち補助対象額 | | うち補助対象額 | |
| 会議費 | 10,000 | 10,000 | 0 | 0 | |
| 設計・事業費 | 20,000 | 20,000 | 13,468 | 12,156 | 塗装用消耗品(塗料,筆,ニス,ラッピングラベル他) |
| | | | | 880 | 事務用品(用紙,色鉛筆他) |
| | | | | 432 | 振込手数料 |
| 加工・組立費 | 150,000 | 150,000 | 177,312 | 167,076 | 台車・コントローラー一式 |
| | | | | 10,236 | 材料(ベニア板,ねじ,プレート,アクリル板,マグネット他) |
| 試験・改良費 | 10,000 | 10,000 | 12,520 | 2,746 | 工具(スチールカッター,乾電池) |
| | | | | 4,680 | 電気ブレーキ材料代 |
| | | | | 5,094 | 加工用消耗品(やすり,木工パテ,セグメント,アロンアルファ) |
| イベント・宣伝費 | 10,000 | 10,000 | 1,218 | 50 | イベントチラシ印刷代 |
| | | | | 1,168 | カラー用紙,ファイル |
| 合 計 | 200,000 | 200,000 | 204,518 | 204,518 | |